

**平成 2 9 年度鳥取県営企業会計
決算概要説明資料**

企 業 局



平成29年度電気事業会計決算概要

(1) 概要

○年間販売電力量は、リニューアル工事に伴う運転停止（春米発電所）や台風被害による運転停止（小鹿第一）等により、前年度比15.4%減の約14万3千MWhとなった。また、事業収益も前年度比3億26百万円減の19億33百万円となった。

○事業収益の減少に加えて、水力発電所の災害復旧費用の増加等により事業費用が1億57百万円増加したことから、純損失は38百万円となった。（前年度比4億83百万円の減）

(2) 収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	29年度	28年度	差 引	備 考																				
①収益	1,933	2,259	△ 326	【発電電力量及び単価等】 <table border="1" style="font-size: small; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">売電電力量 (MWh)</th> <th style="text-align: center;">目標達成率 (%)</th> <th style="text-align: center;">単価 (円/kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水力発電 (11箇所)</td> <td style="text-align: right;">128,371 (155,075)</td> <td style="text-align: right;">89.0 (92.4)</td> <td style="text-align: right;">10.10 (FIT適用以外) ※1</td> </tr> <tr> <td>風力発電 (1箇所)</td> <td style="text-align: right;">4,958 (4,988)</td> <td style="text-align: right;">105.6 (106.2)</td> <td style="text-align: right;">19.08</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電 (8箇所)</td> <td style="text-align: right;">9,204 (8,403)</td> <td style="text-align: right;">118.7 (108.3)</td> <td style="text-align: right;">32~40 ※2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">142,533 (168,466)</td> <td style="text-align: right;">91.0 (93.5)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は昨年度実績等 ※1 FIT適用発電所の単価 加地:18.96、袋川:20.91、 賀津:29.00、若松川・横瀬川:34.00 ※2 FIT単価(H24年度:40 H25年度:36 H26年度:32)</p>	区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)	水力発電 (11箇所)	128,371 (155,075)	89.0 (92.4)	10.10 (FIT適用以外) ※1	風力発電 (1箇所)	4,958 (4,988)	105.6 (106.2)	19.08	太陽光発電 (8箇所)	9,204 (8,403)	118.7 (108.3)	32~40 ※2	合計	142,533 (168,466)	91.0 (93.5)	
区分	売電電力量 (MWh)	目標達成率 (%)	単価 (円/kWh)																					
水力発電 (11箇所)	128,371 (155,075)	89.0 (92.4)	10.10 (FIT適用以外) ※1																					
風力発電 (1箇所)	4,958 (4,988)	105.6 (106.2)	19.08																					
太陽光発電 (8箇所)	9,204 (8,403)	118.7 (108.3)	32~40 ※2																					
合計	142,533 (168,466)	91.0 (93.5)																						
営業収益	1,861	2,212	△ 351																					
電力料	1,861	2,212	△ 351																					
水力発電電力料	1,437	1,816	△ 379																					
風力発電電力料	95	95	0																					
太陽光発電電力料	329	301	28																					
営業雑収益	0	0	0																					
営業外収益	70	47	23																					
特別利益	2	0	2																					
②費用	1,971	1,814	157																					
営業費用	1,867	1,714	153																					
水力発電費等	1,581	1,433	148																					
風力発電費	77	81	△ 4																					
太陽光発電費	209	200	9																					
営業外費用	86	82	4																					
特別損失	18	18	0																					
当年度純損益(①-②)	△ 38	445	△ 483																					
その他未処分利益剰余金変動額	445	351	94																					
当年度未処分利益剰余金	407	796	△ 389																					

○当年度分未処分利益剰余金407百万円を資本金に組み入れる。

(3) 資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	29年度	28年度	差 引	備 考
①資本的収入	83	60	23	
企業債	82	59	23	新規発電所建設に係る企業債借入金の増
固定資産売却代金	1	0	1	土地売却代金
雑収入	0	1	△ 1	
②資本的支出	1,022	812	210	
建設改良費	424	264	160	新規発電所建設に係る工事費の増
企業債償還金	598	548	50	
差引(①-②)	△ 939	△ 752	△ 187	
実質資金収支(キャッシュフロー)	△ 34	328	△ 362	3.4条収支合計に減価償却費等の非資金損益項目等を加減した、実際の現金の増減額

○主な建設改良事業(消費税抜き)

横瀬川発電所建設工事(舗装)	(7百万円)
私都川発電所建設工事(建築ほか)	(61百万円)
若松川発電所自動除塵機設置工事	(23百万円)
待高発電所ほか監視カメラ設置工事	(17百万円)

※上記金額はH29年度の完成払い

(4) 借入金の状況

○企業債 (単位:百万円)

前年度未残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
5,867	82	598	5,351

(注) 建設改良費の充当財源として借入

平成29年度工業用水道事業会計決算概要

(1)概要

- 契約水量は、一部のユーザーで増量があったことから、前年度比1.0%増の34,350 (m³/日)となった。また、事業収益も前年度比4百万円増の5億円となった。
- 日野川工業用水道の漏水応急対策工事等により事業費用が38百万円増加したことから、純損失は前年度比34百万円増の2億28百万円となった。

(2)収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	29年度	28年度	差 引	備 考
① 収 益	500	496	4	【契約給水量及び単価等】
				区 分 契約水量 (m ³ /日) 契約企業数 年間給水量 (千m ³) 単価 (円/m ³)
				日野川 28,400 83 6,467 既設：20 工業用水道 (28,400) (83) (6,421) 石州府：50
営業収益	369	365	4	鳥取地区 5,950 12 1,827 工業用水道 (5,600) (12) (1,398) 45
				合 計 34,350 95 8,294 (34,000) (95) (7,819)
給水収益	369	365	4	○内は昨年度実績等、単価は昨年度と同額
営業外収益	131	131	0	長期前受金戻入ほか
② 費 用	728	690	38	
営業費用	623	574	49	
業務費等	238	185	53	日野川工業用水道漏水応急対策工事等による増
減価償却費	385	389	△4	
営業外費用	105	116	△11	企業償還利息の減
当年度純損益(①-②)	△228	△194	△34	
前年度繰越欠損金	2,868	2,674	194	
当年度未処理欠損金	3,096	2,868	228	

(3)資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位：百万円)

区 分	29年度	28年度	差 引	備 考
①資本的収入	324	284	40	
企業債	26	18	8	
出資金	298	266	32	一般会計からの鳥取工水への出資金
②資本的支出	514	471	43	
建設改良費	24	17	7	既設設備の改良費等
企業償還金	490	454	36	
差引(①-②)	△190	△187	△3	
実質資金収支(キャッシュフロー)	△149	△86	△63	3,4条収支合計に減価償却費等の非資金損益項目等を加減した、実際の現金の増減額

○主な建設改良事業(消費税抜き) 日野川工業用水道9号配水支管給水管布設工事 (7百万円)

(4)借入金等の状況

○企業債 (単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	1,649	21	192	1,478
鳥取地区	3,729	5	298	3,436
計	5,378	26	490	4,914

(注)建設改良費の充当財源として借入

○一般会計長期借入金 (単位：百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度償還額	当年度末未償還残高
日野川	682	0	0	682

(注)石州府への給水事業に伴う収益的収支の資金不足分を借入(H7年度～H17年度)

○一般会計出資金 (単位：百万円)

	前年度末繰入累計	当年度繰入額	当年度末累計額
鳥取地区	2,868	298	3,166

(注)企業債の元金償還金相当額について出資金を繰入(H11年度～)

平成29年度埋立事業会計決算概要

(1)概要

- 新規の土地分譲3件（竹内工業団地）や長期土地貸付1件（旗ヶ崎工業団地）等により、事業収益は前年度比6億19百万円増の9億63百万円となった。
- 事業費用についても、土地売却原価の増加により3億33百万円増加したが、純利益は1億90百万円となった。（前年度比2億86百万円の増）

(2)収益的収入・支出(3条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	29年度	28年度	差 引	備 考
①収 益	963	344	619	
営業収益	956	333	623	
土地売却収益	862	241	621	新規の土地分譲による増(竹内:2社)
その他営業収益	94	92	2	長期土地貸付料(竹内:9社 旗ヶ崎:3社)
営業外収益	7	11	△ 4	土地貸付料ほか
②費 用	773	440	333	
営業費用	773	396	377	
土地売却原価	741	248	493	新規の土地分譲による増(竹内:2社)
一般管理費等	32	148	△ 116	竹内工業団地の土地評価損の減
営業外費用	0	0	0	
特別損失	0	44	△ 44	
当年度純損益(①-②)	190	△ 96	286	
前年度繰越欠損金	4,781	4,685	96	
当年度未処理欠損金	4,591	4,781	△ 190	

(3)資本的収入・支出(4条)

(税抜、単位:百万円)

区 分	29年度	28年度	差 引	備 考
①資本的収入	0	0	0	
②資本的支出	945	243	702	
建設改良費	0	40	△ 40	
他会計借入金償還金	930	203	727	一般会計長期借入金償還金(竹内工業団地分)
利子補給返還金	15	0	15	工業団地造成利子補給金返還金(竹内工業団地分)
差引(①-②)	△ 945	△ 243	△ 702	

実質資金収支(キャッシュフロー)	△ 12	37	△ 49	3,4条収支合計に非資金損益項目等を加減した、実際の現金の増減額
------------------	------	----	------	----------------------------------

(4)借入金の状況

○一般会計長期借入金 (単位:百万円)

	前年度末残高	当年度借入額	当年度返済額	当年度末残高
竹 内	3,750	0	930	2,820

(注) 土地造成のための借入

(5)分譲状況

平成30年3月末現在(単位:ha)

工業団地名	造成面積	売却面積	長期貸付面積	未分譲面積	うち工業団地	分譲率
竹 内	128.6	107.4	13.8	7.4	7.4	94.2%
旗ヶ崎	41.9	40.2	1.3	0.4	0.4	99.0%

